学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂 新編化学基礎　（東京書籍）						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では中学校の一分野で学んだ原子について深く学びます。この宇宙にある全ての物質が、たった１３０種類くらいの材料で作られていることを、みなさんは知っていますか？宇宙に存在する物質の種類は膨大な数になりますが、それらを細かく分けていくと、同じ材料が使われていたりするのです。それらを学び理解することで、物質の特性をより深く理解することができます。１つ１つ積み重ねて学んでいく科目なので、予習・復習をしっかりとしてください。また比や方程式などの計算もできるように復習しておいてください。

２　学習の到達目標

- 物質の構成粒子とその性質について理解する。
- 物質の分離とそれらの成分、原子の構造・電子配置と周期表との関係について理解する。
- 化学変化と量的関係を理解する。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.観察・実験の技能	d.知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	物質の成り立ち	物質の探求	○				a：物質の成り立ちについて関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b：物質の成り立ちについて問題を見出し、科学的に思考・判断し、導き出した考えを表現している。 c：物質の成り立ちに関する実験・観察を行い、それらを探求する方法を習得するとともに、過程や結果を的確に記録・整理している。 d：物質の成り立ちについて理解し、知識を身につけている。	授業態度 ノート・ワークシート 実験レポート 定期考査
		物質の構成粒子	◎		○	○		
		物質と化学結合	○	○		◎		
		物質の成り立ちに関する探究活動		○	◎			
後期	物質の変化	物質量と化学変化	○	◎		○	a：物質の変化について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b：物質の変化について問題を見出し、科学的に思考・判断し、導き出した考えを表現している。 c：物質の変化に関する実験・観察を行い、それらを探求する方法を習得するとともに、過程や結果を的確に記録・整理している。 d：物質の変化について理解し、知識を身につけている。	授業態度 ノート・ワークシート 実験レポート 定期考査
		酸と塩基	◎		○	○		
		酸化と還元	◎		○	○		
		物質の変化に関する探究活動		○	◎			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。